



並行在来線等問題特別委員会行政視察
(H24. 11. 15 長野県千曲市 しなの鉄道)



田中小学校校舍公開 (H24.11.18、11.25、H25.1.2 来賓室、廊下 約1,100人来校)

平成24年12月定例会一覽

開会
12月4日

閉会
12月17日

会期14日間

○本会議（主な内容）

4日
会期の決定
決算特別委員会委員長報告・
質疑・討論・採決

議長の選挙
副議長の選挙
議会運営委員会委員の選任
議会運営委員会の正副委員長の選任
提案理由説明
補足説明
一般質問
11月10日
議員・請願の委員会付託
17日
委員長報告・質疑・討論・採決
追加提案
提案理由説明・採決
議員提出議案
提案理由説明・質疑・討論・採決
特別委員会の正副委員長の選任
富山地区広域圏事務組合議会、滑川中
新川地区広域情報事務組合議会議員の
選任
閉会中の継続審査

○委員会

11・17日
議会運営委員会
12日
総務文教消防委員会
13日
産業厚生建設委員会

○議案の審議結果

予算（原案可決）3件
条例（原案可決）3件
その他（原案可決）3件
その他（原案否決）1件
その他（原案認定）1件
その他（原案承認）1件
人（原案同意）2件
人（原案異議なし）1件
人（原案可決）1件
議員提出（原案可決）4件
議員提出（原案可決）20件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。

◇正副議長の交代

◇議案第84号「滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について」を否決

本会議

議長に 砂原 孝氏

副議長に 中島 勲氏



中島 副議長



砂原 議長

◇12月4日に本会議を開き、まず会期を17日までの14日間と決めた後に、決算特別委員会の委員長報告を

12月定例会

市議会12月定例会は、12月4日から17日までの14日間の会期で開催されました。
審議した案件は、継続審査となっていた「平成23年度滑川市各会計決算の認定について」外1件や平成24年度一般会計補正予算をはじめとする予算関係及び条例等の市長提出議案13件（追加議案3件を含む）、請願1件、議員提出議案4件の合計20件です。
審議の結果、継続審査及び市長提出議案の12件、請願並びに議員提出議案4件は原案どおり可決、認定、承認及び同意等なされましたが、市長提出議案1件が否決されました。

受け、「平成23年度滑川市各会計決算の認定について」及び「平成23年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」を認定、可決しました。

その後、議長、副議長の選挙を投票に行い、続いて議会運営委員会委員の選任、同正副委員長長の選任が行われました。

引き続き、平成24年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例の市長提出議案10件が一括上程され、副市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇10日、11日は一般質問が行われ、12名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案及びJR東滑川駅の「こ線橋設置」に関する請願を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の17日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果等の報告がありました。

次に、議案第84号に対する討論が3名の議員から反対、賛成、反対の順に行われ、続いて議案第87号の反対討論が2名の議員からなされました。分離採決の結果、議案第84号については、賛成少数で否決、議案第87号については、総務文教消防委員長の報告のとおり賛成多数で可決され、その他の8議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

続いて、市長から人事案件として、滑川市監査委員に高木悦子氏の選任、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に大浦進氏の選任、人権擁護委員候補者に守内幹博氏の推薦について追加提案され、それぞれ同意または異議なしといたしました。引き続き、議員提出議案4件の提案理由説明の後、採決を行い、いずれも可決されました。

その後、魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会の正副委員長、並行在来線等問題特別委員会の委員長の互選結果が報告され、次に富山地区広域圏事務組合議会議員、滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員の補欠選挙が行われました。

最後に閉会中の継続審査を決定して、12月定例会を閉会といたしました。

◆議会運営委員会（◎委員長 ○副委員長）	
◎開田 晃江	○岩城 晶巳
水野 達夫	浦田 竹昭
中川 勲	高橋 久光
◆並行在来線等問題特別委員会	
◎水野 達夫	○中島 勲
高木 悦子	岩城 晶巳
浦田 竹昭	砂原 久光
森 結	高橋 久光
◆魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会	
◎砂原 孝	○中島 勲
水野 達夫	高木 悦子
原 明	岩城 晶巳
石倉 正樹	古沢 利之
開田 晃江	中川 久光
野末 利夫	高橋 久光
前田 新作	
◆滑川市監査委員	
高木 悦子	
◆各組合議会議員	
・富山地区広域圏事務組合	砂原 孝
開田 晃江	
・滑川中新川地区広域情報事務組合	
水野 達夫	高木 悦子
石倉 正樹	中川 勲
日誌	
24年11月	魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会幹事会
2日	並行在来線に関する4市2町要望（富山市）
6日	決算特別委員会
7日	決算特別委員会
8日	議会運営委員会協議会
9日	定例議員協議会
13日	議会報編集委員会・講評
13日	決算特別委員会・講評
13日	富山地区広域圏事務組合行政研修（兵庫県）
15日	並行在来線等問題特別委員会行政視察（長野県）

22日	産業厚生建設委員会協議会
22日	並行在来線等問題特別委員会協議会
27日	議会運営委員会
27日	朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会要望（新潟県、東京都）
28日	滑川中新川地区広域情報事務組合先進地視察（福井県）
29日	定例議員協議会
4日	議会運営委員会協議会
4日	全員協議会
17日	12月定例会
17日	議会報編集委員会
10日	定例議員協議会
10日	並行在来線等問題特別委員会協議会
17日	議会報編集委員会
17日	産業厚生建設委員会協議会
18日	総務文教消防委員会協議会
23日	議会報編集委員会

代表質問

12月定例会では12名の議員が質問を行い、33項目について市当局の見解を求めました。
質問と答弁の主な内容は次のとおりです。
（すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までには、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。）
※質問者の最後の〇は、掲載外の質問事項です。

一般質問



1 介護保険事業について
2 水道事業について
3 職員教育について

中川 勲 議員

Q 介護保険事業第5期各事業の執行状況は。

A 岡本福祉介護課長 平成24年3月から9月までの保険給付額は、14億5千5百10万5千円で24年度計画額の56・7％となり第5期3カ年計画全体計画額の18・4％となっている。

Q 平成24年介護保険制度が一部改正され、地域密着型サービスが盛り込まれたが状況はどうか。

A 岡本福祉介護課長 地域密着型サービス事業所として認知症対応型共同生活介護、いわゆるグループホームの2施設は100％、小規模多機能型居宅介護施設並びに認知症対応型通所介護施設は60％から70％の利用率である。小規模多機能型居宅介護施設2施設は平成24年度に入り利用率が伸

びている。今年度から新たに定期巡回・臨時対応型訪問介護看護サービスが新設されたが実施していない。

Q 水道本管の老朽管の耐震化はどこまで進んだか。

A 砂田上下水道課長 平成23年度末において耐用年数40年を超えた老朽配水本管の延長は約5キロメートルで全体の2％である。平成22年度から横道配水池から耐震管に布設替えを実施しているが横道配水池から大島新の交差点までの1・1キロメートルを整備した。平成28年度を目途に鋭意整備を進めたい。

Q 市民のニーズが多くなる中、市民と向かい合っ

てしっかりと説明することが職員の大きなテーマと思うが若い職員に経験、

技術が継承されているか。

A 折田総務課長 平成21年度から23年度の3年間で43名が退職、今年度末にも10名の退職が予定されており、長い期間に培われた技術や経験を次の世代に伝えることや、若い職員の資質向上が喫緊の課題となっている。新採職員には、上司を職場指導員に指定し積極的な指導助言をするとともに平成23年度から退職者の再任用や再雇用を実施し、後輩職員への研修に力を入れている。また、平成23年度の外部への派遣研修に102名、庁舎内では、接遇研修、メンタルヘルス研修を開催している。今後とも職員の資質向上に努めてまいりたい。

一般質問



1 人口増加への取り組みについて
2 観光の振興について
3 農業振興について

原 明議員

Q 滑川市の人口は、平成17年4月1日の3万4千2百34人から減少しており、7年間で353人減少しているが、人口増加対策への取り組みは。

A 池本総務部長 市の活性化は、人口増加が重要な要素の一つであることから、子どもの医療費助成や第3子以降の保育料の無料化、放課後児童対策など出生率アップのための施策、企業誘致の推進などの施策を実施してきているところである。

しゃった。個人の問題ばかりでなく、地域の課題との要素もあり、検討させていたきたい。

Q いきいき富山館での物産展の成果、観光PRの成果は。

A 碓井商工水産課長 滑川の商品を購入された人数は245人である。11月27日から12月5日までの情報館の来館者は84人となっており、初の試みではあったが、首都圏の方々に滑川市を知ってもらえるよい機会となった。

Q 人・農地プランの作成の進捗状況は。

A 碓井商工水産課長 人・農地プランは現在素案を作成中であり、今後は、生産組合長会議及び集落座談会等の場を活用し、各地域で素案の検討や修正を2月下旬頃までに実施する予定である。

Q 学校給食に使用されている、地場産野菜の納量と品目は。

A 膳亀農林課長 学校給食への滑川産野菜の納量は、平成24年度は11月末現在で12・9トン、利用率で21・9%と増加している。品目は、ジャガイモ、白ネギ、大根、柿、梅、ミカンなど平成23年度が23品目であったが平成24年度は11月末で29品目となっている。

Q 市制施行60周年記念事業をどう考えているか。

A 池本総務部長 11月1日に関係者を招待した記念式典、5月下旬に県の事業の「とやま森の祭典」の開催をする。また、60周年の冠を付けた事業を各課で計画している。

Q 新年度の目玉事業はあるのか。あれば何か。

A 池本総務部長 市民の生命と財産を守る事を最優先に、公共施設の耐震化などの防災対策が大きな目玉事業と考えている。

Q 耐震化未着工の公共施設はどうしていくのか。

A 池本総務部長 緊急防災・減災事業が来年度も現行のまま継続されれば、市庁舎以外の公共施設、地区公民館、青志会館等の耐震化を当初予算、補正予算で平成25年度中に終えたいと考えている。

Q 福祉介護課が本庁舎に移転されるが、市民交流プラザは福祉の拠点でなかったのか。

A 小幡産業民生部長 交流プラザは、市民の健康・福祉の増進並びに地域の活性化を目指した交流人口の増大を図る事を目的に平成19年6月オープンし、市内外の方々に親しまれ、平成23年度は19万人の利用があった。福祉介護課を平成26年4月に本庁舎に移し、交流プラザに行政部門はなく、福祉の増進を図る目的は変わらず、引き続き福祉のまちづくりとしての拠点とする。

Q 線橋の設置をJRに強く働きかけていたが、今後どのようにしたいのか。

A 富士原企画政策課長 鉄道の運営者がJR、新会社にかかわらず運営で大切なことは、安全性の確保である。この線橋設置には高額な工事費がかかるのでJRの理解を得るのは困難なため、新会社への要望を考えている。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

一般質問



1 平成25年度予算編成にあたって
2 市民交流プラザの利活用について
3 JR東滑川駅の整備等について

前田 新作議員

いる。

Q 福祉介護課が本庁舎に移転されるが、市民交流プラザは福祉の拠点でなかったのか。

A 小幡産業民生部長 交流プラザは、市民の健康・福祉の増進並びに地域の活性化を目指した交流人口の増大を図る事を目的に平成19年6月オープンし、市内外の方々に親しまれ、平成23年度は19万人の利用があった。福祉介護課を平成26年4月に本庁舎に移し、交流プラザに行政部門はなく、福祉の増進を図る目的は変わらず、引き続き福祉のまちづくりとしての拠点とする。

Q 線橋の設置をJRに強く働きかけていたが、今後どのようにしたいのか。

A 富士原企画政策課長 鉄道の運営者がJR、新会社にかかわらず運営で大切なことは、安全性の確保である。この線橋設置には高額な工事費がかかるのでJRの理解を得るのは困難なため、新会社への要望を考えている。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。

A 富士原企画政策課長 駅のバリアフリー化は十分な対応がされていない。利用者の利便性の確保も考えて、この線橋と同様に新会社へ要望していく。

Q 東滑川駅の駅舎やプラットホームにスロープがない。バリアフリー化をどう考えているのか。



JR東滑川駅

一般質問



1 海洋高校の跡地利用について 2 下水道について 3 施設インフラの維持管理について

開田 晃 江議員

Q 海洋高校の跡地利用の市費はどのくらい投じるのか。またその内容は。

A 池本総務部長 フット

ボールセンターの関係で大きなものは、用地費で既存の海洋高校跡地の譲渡費用として、大体6千万円程度、それから2面つくるために必要となる田の購入費、4千数百万円ぐらい、それと周りの道路、一部空き地の多目的な広場としての整備費関係、それと用水や道路の補修も入っている。今回の跡地整備の総事業費は約5億5千万円で、うち市費は約2億2千5百万円の予定である。

Q 現在の下水道の布設率は計画の何%か。

A 砂田上下水道課長 昭

和55年年度から平成23年度までの累計で約174キロ

メートル布設されており、現在認可を受けている計画の約71%である。

Q 魚躬の上市川左岸は、今後どのようにするのか。

A 砂田上下水道課長 そ

の地区については今の認可区域に入っていない。全体計画では、平成32年度までに完成させたい。

Q 町内の一部だけ未整備箇所がある地区の解決策をどのように考えているか。

A 砂田上下水道課長 ま

ず幹線を優先的に布設している。今後、予算の許す限り鋭意解消したい。

Q 下水道事業に市の単独費としてどれくらい使ったか。今後どれだけ使う予定か。

A 砂田上下水道課長 全

体事業費約275億円のうち170億円の市費を使ってい

る。将来の予定は、認可を受けた地区で、今後約60億円使用する見込みだ。

Q 道路やトンネルの定期検査は行っているか。

A 三浦建設課長 8号

バイパスや高速道路の下を通る道路についてはカルバート構造であるから、市内にはトンネル等の構造物はない。市道の定期点検は、幹線道路のみだが、職員が路面の剥離、陥没等を点検している。

Q 魚躬の上市川そばのアンダークロスに網目のようにひびが入っている。傷んでいると思っているか。

A 三浦建設課長 それ

は、前から聞いている。今、橋梁長寿命化修繕計画の中で調べればと思っている。

一般質問



1 新幹線開業に伴う諸問題について 2 新川育成牧場の脱退問題について

岩城 晶 巳議員

Q 新幹線開業に伴う諸問題ということで、関西方面への移動が大変不便になる。4市2町の議会が集まり改善策をいうことで共同の要望事項、その中で各市町に共通している項目が一つあり、それは金沢・糸魚川間に快速列車の運行をお願いするという要望である。呉東の各市町にとり切実な問題であり、快速列車を走らせる気はあるのか。

A 富士原企画政策課長 糸

魚川・金沢間の快速という要望が強く出ていることは把握している。現在、特急列車で「おはようエクスプレス」というものがあり、並行在来線において快速列車という位置づけで、通勤時間帯に走らせることができないかとJR西日本と交渉し

ている。新会社の経営計画概要には、新潟県とのアクセスの利便性を考慮するために、泊駅のハード面を整備して、アクセスのよいものにしようとして明記されている。

Q 新幹線が開通することになれば、航空便に乗る人も減るのではないかとと思う。その少なくとも航空便を中京方面や関西方面へ直接航空便の発着という考えを県として何か持っているのか。

A 富士原企画政策課長 結

論から申し上げると、現在、県のほうはそういった考えは持ち合わせていないようだ。関西、中京方面へのアクセスについて、県のほうは、早朝の時間帯だけでもというような代替案を示しながら粘り強く交渉している。

Q 新川育成牧場の脱退問

題について、問題が大き過ぎて暗礁に乗り上げているのではないか。

A 久保副市長 一番の

ネックは、牧場には347人の地権者があり、契約の経過から見ると、現状回復義務があり、そこが一番の大きな問題だ。牧場運営の転換期に來たとして、一部脱退ではなく、組合及び公社の解散を視野に入れて新たな組織で運営したかどうかというところだ。滑川市はその中で組合債、長期借入金

の繰上償還、職員の退職手当特別負担金等、4千4百59万1千円の負担と新会社の財政支援も考えていかななくてはならない。

その他の質問事項

Q 養鶏場建設問題について

一般質問



1 市街地浸水区域の今後の対応について 2 公共施設の整備について

水野 達 夫議員

Q 9月11日の豪雨により浸水した区域のそれぞれの箇所においてどのような対策をとられるのか。晒屋地区はどうか。

A 東建設部長 県道部分については平成24年度予算で対応すると聞いています。市道部分に関しては、新年度予算で十分反映していきたい。

Q 清水町地区はどうか。

A 東建設部長 修繕できるものは即対応した。残り数十mの区間についても新年度に解消に向けた整備をしていきたい。

Q 田中町地区はどうか。

A 東建設部長 昔の法務局の横の川からの溢水が原因である。雪解けを見て、土のうの補修をしていきたい。

Q 田中新町地区はどうか。

A 東建設部長 上流部で

下流への流量を抑えるために、二級河川中川に向けて新たに側溝を整備していきたい。県との協議が必要であり、いつからかは明言できない。

Q 下島地内の都市下水路沖田川の改修はどうか。

A 東建設部長 空石積の護岸で完成か。

A 東建設部長 一応改修の方向で進めたい。ただ先に現地調査をしたい。

Q 公共施設整備基金の残高はいくらか。

A 杉田財政課長 今回の補正予算で1億8百万円を取り崩し、残りは1億9千2百万円になる。

Q 耐震補強工事等の事業債の借入総額はいくらか。

A 杉田財政課長 今後の借入予定額も含めて、総額約17億円程度と見込んでいる。

Q 公共施設整備基金のさ

らなる上積みが必要だと思うがいかがか。

A 杉田財政課長 全くおっしゃるとおりである。今後、公共施設の改修に備えて、積み増しできる時に少しでもしていただくといった姿勢が必要になってくる。

Q 事業債の償還がピークを迎える頃の財政状況はどうなるのか。

A 杉田財政課長 緊急防

災・減災事業については、国の交付税措置が手厚い。ただし、借りなかつた時に比べ、今後確実に年間1億数千万円は増える。それに備えて減

災基金も積み増しを行っていかねばいけない。

その他の質問事項
Q 並行在来線におけるJRからの支援について

一般質問



3 2 1

新幹線開通後の観光対応整備を 教育現場からSOSが聞こえている トンネル崩落事故を受けて市内道路の危険箇所の点検状況は

高木 悦子議員

Q 旅行スタイルが団体旅行から個人旅行へとシフトし、新幹線の開通で、個人観光客の入り込みが期待される。観光協会は、個人観光客への情報提供を十分に行っているか。

A 碓井商工水産課長 新幹線開業を見据えたイベント等へ宣伝に参加し、フェイスブックを利用したPRにも取り組んでいる。

Q 観光客に、いかに滑川にお金を落としてもらうかという情報を提供しなければならぬと思う。商工会議所と観光協会の連携が十分ではないか。

A 碓井商工水産課長 商工会議所で飲食店マップを作るので、観光協会と市の観光のところにリンクを張りたい。商工会議所との情報共有を図り、さらに観光のPRをした

Q 新幹線開通に向けた、広域観光の連携状況は。

A 碓井商工水産課長 新川地域観光開発協議会と富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会に参画、情報発信している。

Q 一部の保護者から、学校の状態に不安を抱いているという声が聞かれる。教育委員会として、教育現場の実態把握にもっと尽力してもらいたい。

A 石川教育長 不安の声があるとすれば、大変申し訳なく残念なことだ。改めて学校現場と話し合い、子どもたちの健全育成、教育に取り組むたい。

Q からかいはじめの入り口。教師個人ではなく、学校全体で早期発見、早期対応と、マニュアル整備が必要ではないか。

A 山岸学務課長 県の

「いじめ対応ハンドブック」の活用、学期に1回のアンケート調査など早期発見対応に努めている。

Q 学校の現場で、家庭を含んだ対応が必要とされている。次の対応を考えるのが教育委員会に課せられた使命であると思う。

A 石川教育長 家庭教育の役割は重要だと思う。保護者・地域と三者連携の中で、健全育成をしていかなければならない。

Q 市内道路の危険箇所として想定されるのは橋梁だと思う。橋梁点検の途中経過を教えてください。

A 三浦建設課長 15m以上の橋梁に大きな損傷は無かったと報告を受けた。

Q 危険箇所の排除は、積極的に進めていくか。

A 三浦建設課長 積極的に取り組むたいと考える。

一般質問



滑川市の地籍調査について問う

石倉 正 樹議員

Q 滑川市の調査状況はどの程度進んでいるか。今は休止中か調査中か、または再開を検討中か。

A 児島まちづくり課長 平成23年度末で61・3%

で、県平均の28%や全国平均の50%と比べて高い。しかし、調査実施済みの箇所は、区画整理及び土地改良事業を実施した農用地が多く、都市部や山村部の調査が進んでいない。本市では昭和52年以降事業を休止していたが、早期の事業の実施を現在検討している。

Q 調査の必要性をどう考えているのか。調査のメリットとデメリットは。

A 児島まちづくり課長 土地取引の円滑化や流動化を高める観点や災害に強いまちづくりの観点から必要な事業であると考ええる。メリットは、公共

事業の正確な構想、計画が可能となり、測量経費と時間の節約、災害等の復旧で土地の境界を迅速に復元できる、境界や面積が明確になり、土地にかかわる境界紛争等を防止できる。問題点として、調査実施について地権者の立ち会いが必要となり、境界を当事者間で明らかにする必要がある。

Q 調査費用は概算でどのくらいか。国、県、市の助成制度はあるか。

A 児島まちづくり課長 事前調査、現地調査・測量等を含めた事業費全体は、調査対象地区である用途地域内の約4・18平方キロメートルで、最低2億2千万円見込まれる。助成制度は、国が50%、県が25%、市が25%である。ただし、市

の負担額については、8割が特別地方交付税で交付され、実質の市の負担額は約5%、約1千万円程度が市の負担である。

Q 事前調査と地主の承諾は、市で行えるのか。

A 児島まちづくり課長 市

で調査を行うため、地権者に直接的な費用は発生しない。市もしくは委託業者が実際に行い、土地所有者が隣の方へ直接連絡するという費用は発生しないと考えている。

Q まちづくりには欠かせない調査であり、災害に強いまちづくりの観点からも早急に着手すべきである。

A 久保副市長 地域の皆さんに十分説明し、早期の事業実施に向けて準備を進めたい。

一般質問



1 学校の非構造部材の耐震対策について
2 就学援助について
3 視覚障害者の地上波デジタルの対応について

古沢 利之議員

Q 学校の非構造部材の耐震問題について、9月議会では教育委員会として調査をしていなかったとだった。結果はどうだったか。

A 山岸学務課長 天井、照明器具、窓・ガラス、外装、内装、家具等を目視点検してもらった。劣化が見られたが、技術職員が点検した結果、いず

れも軽微で早急な対応は必要ないと判断した。ただし、テレビ、書棚等で固定されていないものがあつたので、早急な対応を指示した。

Q 就学援助が必要な子供たちが増えている。平成23年度は108人、10年前の平成13年度では31名だった。就学援助は市町村が必要ない援助を与えなければならぬ。保護者への

周知はどのようにされているか。

A 山岸学務課長 小学校新1年生の全保護者に、関係書類を配付している。ほかの学年は前年度該当していた児童・生徒の保護者に書類を配付するほか、校長・担任には経済的に厳しいと思われる児童・生徒の把握に努めてもらい、該当しそうな保護者に申請を勧めてもらっている。

Q 経済状況は変わる。制度の周知に改善の余地はないか。

A 山岸学務課長 今年度も新たに20名が就学援助を受けており、周知はうまく機能していると考えている。

Q 文部科学省は2010年度からクラブ活動費、PTA会費、生徒会費を補助対象にしている。趣

旨からいえば滑川市でも対象にすべきではないか。

A 山岸学務課長 現在は対象にしていない。他の市町村の状況も見ながら検討したい。

Q 厚生労働省の調査では、視覚障害者の66%がテレビ音声から情報を得ていた。デジタル化でそれができなくなった。デジタル対応のラジオが発売されてきたが、高価だ。視覚障害者への給付を検討してはどうか。

A 小幡産業民生部長 デジタル対応のラジオは比較的高価だが、今後求めやすい価格になることが見込まれることから、現在のところ給付は考えていない。国、他市町村の動向を見て検討したい。

一般質問



1 低炭素社会と資源確保について
2 福祉施策について
3 学校施設における老朽化対策について

野末利夫議員

Q リース方式による公共施設へのLED照明の導入について

A 杉田財政課長 照明はLEDが主流になると思

う。市の公共施設や街灯については、改修時にLEDを積極的に採用している。リース方式もあるが、一遍で交換すると廃棄する照明も多くなり、環境に負荷を与えるデメリットがある。価格が高価なため、高いときにリース契約をし、過年度に負担分を与えてしまうこともあり、慎重に検討すべきものである。市庁舎については、白熱灯は全てLEDにしており、蛍光灯は、交換時に少しずつ交換していきたい。

A 小善生活環境課長 環境への負荷をできる限り低減する循環型社会の構築を目指す中、廃棄物の減量化、資源化に積極的に取り組んでいる。回収対象品目は家電リサイクル法対象家電、テレビやパソコンを除く小型家電、電気電子機器としており、県内のリサイクル業者が買い取り、破碎分解して希少金属を取り出す。今後より一層住民にPRし、廃棄物の減量や再資源化に努めたい。

Q 介護保険制度の改善の一環として、福祉用具購入費及び住宅改修費の受領委任払い制度の導入について

A 岡本福祉介護課長

今 今のところ受領委任払いを導入する予定はないが、他市町村の状況等を把握し、利用者の負担がかか

らず適切なサービスが受けられるように努めている。

Q 学校施設の劣化診断等の現状把握について

A 山岸学務課長

年に1回は教育委員会と学校で施設を見回り、修繕箇所の把握に努めている。

Q 長寿命化のための中長期的計画策定並びに推進体制の整備について

A 山岸学務課長

学校施設での長寿命化は、その学校で教育を受ける児童・生徒の教育内容の向上と密接に関係する。教育委員会としては、密接に学校現場と連絡をとり、施設の状態を把握して、緊急性の高いものから修繕をし、施設の維持に努める。市の総合計画の中に位置づけていきたい。

一般質問



都市基盤の整備について（洪水対策は万全か）

中島 勲議員

Q 洪水は水が引いてしまえば日常の風景に戻ってしまうこともあって、なかなか当事者以外は実感として被害を受けとめにくいと思う。だからといって行政がそれで許されるわけではない。住民の安全・安心の確保は行政が最優先で取り組むべき課題だと思うが、今までの対応を見ると当局の認識に多少問題があると思うが、見解は。

A 東建設部長 市民の安全・安心を確保するには、情報を先取りする予測の高度化や職員の初動体制の迅速化、降雨・河川水位の監視強化に努めていかねばならない。特に降り始めから氾濫に至るまで非常に限られた時間の中で被害を最小限に抑えるため、水門操作を迅速に行うとともに、過

去に被害のあった箇所の巡視に努め、異常等が見えれば消防署や分団との密な連絡により、いち早い対応に努めている。

Q 洪水ハザードマップが現状と大きくずれているのでは。

A 東建設部長

今後はゲリラ豪雨が多発傾向にあることから、内水氾濫ハザードマップも策定していかなければならないと思っている。

Q 被害の大きかったところの対応を伺いたい。

A 東建設部長

工事箇所については、晒屋の側溝と清水町の側溝の整備、そのほか田中町に重大な被害を及ぼしている旧登記所横の水路については、あの護岸に土のうを積みたいたと考えている。また沖田川のバックウ

ォーターがかかるため、上流部の中滑川駅前から来る水路を、その上流部において遮断し、中川に持つていけないかという計画を持っており、県との協議も必要と思っている。

Q 沖田川放水路が完成すればそれはそれでオーケーかもしれないが、今度は上流部で同じ状況がでくると思う。しっかりとした対策をつくってほしい。

A 上田市長

これから議員、地元の方のご意見も頂戴しながら、大胆に解決したい。水にこれだけ歴史的に悩まされる、実に恥ずかしいことと思っている。

その他の質問事項
Q 市民交流プラザのあり方について

一般質問



1 みのわテニス村の活用について 2 不法投棄、防犯対策について

浦田 竹 昭 議員

Qみのわ温泉での、娯楽イベントの企画、テニスコートでは、全天候屋根付きのテニスコートへの

改修、グリーンハウスでは、施設全体の改修により、合宿施設として集客促進を図ることについての見解を問う。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

指定管理の絡みの中で、リフォームを含め、今後はみのわテニス村のあり方を見直していきたい。

Q当市の他の施設、とりわけ集客施設について、利用状況を踏まえ、活用等の取り組みについての見解を問う。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

歌や踊り等ボランティア団体の活用を積極的に取り入れていき、屋根付きテニスコートについては、貴重な意見として参考にしていただき、グリーンハウスでは、リフォームの検討とともに、宿泊もでき、運動もできる温泉施設として営業展開し、合宿等の積極的な誘致を図っていく。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

他の不採算市有施設、補助施設の現状を点検し、活用上の改善策は勿論のこと、統合や廃止も含めて総合的に検討する必要がありますが、今後公共施設の抱える問題を検討するプロジェクトチームを立ち上げて考えていきたい。

Q中山間地域での、空き

地や窃盗犯罪並びに不法投棄犯罪の現状とパトロール等防止対策について問う。

A 小善生活環境課長

侵入窃盗犯罪が2件、不法投棄犯罪が6件発生しており、防犯パトロールは地域のボランティア団体の協力、不法投棄パトロールは、シルバー人材センターへ委託し、実施している。

Q犯罪防止対策として、中山間地域の幹線道路に防犯カメラの設置ができないか見解を問う。

A 小善生活環境課長

防犯カメラの撮影範囲が限定されることから、プライバシーの問題等で、容易に設置に至らないのが現状である。

委員会

12月定例会の委員会の審査から

審査から

12月定例会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

総務文教消防委員会

審査議案は9議案及び請願1件であり、議案はいずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。また、請願1件については、採択としました。

▼議案第78号 平成24年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

▼議案第79号 平成24年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）（但し、人件費分を除く）

▼議案第80号 平成24年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第2号）（但し、人件費分を除く）

▼議案第81号 滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

▼議案第82号 滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第83号 滑川市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第85号 工事変更請負契約の締結に

ついて

◆議案第86号 地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

◆議案第87号 富山県東部消防組合の設置について

●請願第1号 J R東滑川駅の「こ線橋設置」に関する請願

産業厚生建設委員会

審査議案は5議案であり、議案第84号は賛成少数により否決され、その他の4議案は原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

▼議案第78号 平成24年度滑川市一般会計補正予算（第4号）

▼議案第79号 平成24年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）（但し、人件費分を除く）

▼議案第80号 平成24年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第2号）（但し、人件費分を除く）

◆議案第84号 滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について

◆議案第86号 地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

決算特別委員会

審査議案は2議案であり、原案のとおり可決または認定すべきものと決定しました。

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。

【歳入】

- 1 市税等徴収対策室を有効に活用され、税や使用料、家賃などの収納率向上対策が図られていることから、その努力に敬意を表するが、口座振替の促進や連帯保証人制度を効果的に活用するなど、さらなる収納率の向上を図りたい。特に、悪質な案件については、預貯金はもちろんのこと、給与、動産、不動産などの差押えなどの法的措置を含めて厳正に対処されたい。
- 2 不納欠損とならないよう初期段階からの徴収や分割納付の徴収に努力されたい。特に固定資産税の滞納についてはその内容を精査すること。
- 3 滑川市健全な財政に関する条例に基づき、公債費負担比率などの財政指標を念頭において、中・長期的な財政運営に引き続き努められたい。

【歳出】

- 1 今後、決算の審査を行う上でも、限られた財源を有効に活用し、市民にとってどのような成果が得られたのか、事業本来の目的をどれだけ達成できたかを把握するため、平成23年度に評価・検証を行った行政評価結果（1次評価358事業）の内容を示されたい。
- 2 全般的に多額の不用額が発生しているが、予算要求時において前年度の不用額の内容を検証し、新年度予算に反映されたい。また、補助事業等に減額があった場合は速やかに減額補正をするなど、見かけ上の不用額とならないように今後も留意され、承認された予算の不用額を、安易に別

件事業へ流用されることがないようにされたい。

- 3 燃料費や光熱水費の量的支出が適正に行われているか、無駄がないかの判断は金額だけでは把握できないので、購入量、消費量といった数量の把握を行うとともに、庁用車のリースも含め一元管理することでコスト削減や省エネ対策に努められたい。
- 4 委託料の清掃業務・電気保安業務・消防設備保守点検・エレベーター保守点検・空調設備保守点検など、市が管理している全ての施設（学校も含む）の業務委託の現状を把握し、業務ごとに一括で発注するなど、さらなる業務委託費の削減に努められたい。特に、清掃業務については、委託内容、入札条件などを厳しく見直し、また、公園等管理業務については、複数年契約も検討し、品質の維持・向上などに努められたい。
- 5 愛市購買の観点から、全庁及び関係機関の各種物品等の購入にあたっては、地元業者を最優先されたい。
- 6 職員研修費について、大幅に引き上げた予算の割には執行率が低い。職員が積極的に研修等に参加できる体制づくりや雰囲気づくり、研修期間中の執務分担等の配慮が必要とも思われる。さらなる研鑽のためにも、執行率を上げる努力をされたい。
- 7 市有遊休地の売却について、なお一層の努力をされたい。
- 8 公共施設の維持管理には今後多額の費用が必要とされることから、全ての公共施設を対象に統合、廃止（売却）も視野にいられた検討チームを早期に立ち上げるとともに、指定管理についても検証されたい。

に、指定管理についても検証されたい。

- 9 生活保護費、扶助費について、対象者の審査を適正かつ厳しく実施されたい。
- 10 福祉見回り隊について、マンネリ化していないかなど、活動の見直しをされたい。
- 11 要援護者マップ情報共有システムが有効に活用されるよう努められたい。
- 12 社会福祉センター借上料等については、各事務所の適正な配置に努め、経費の削減に努められたい。
- 13 就学援助を必要とする児童・生徒が増えている。学校、保護者への制度の周知を徹底し、必要な援助が適切に受けられるよう努められたい。
- 14 ゲートボール場については、現在の利用状況や今後の競技人口等を考慮しながら多目的利用も視野に検討されたい。
- 15 総合型地域スポーツクラブへの育成支援補助金については、スポーツクラブの自立運営の観点や所期の目的を考慮し、見直しを検討、指導されたい。
- 16 近年の、みのわテニス村の利用状況、運営のための指定管理料を考慮すれば、早急に抜本的見直しを行い、新たな活用計画を策定し示されたい。
- 17 文化・伝統・郷土芸能を伝承するため、補助金の増額と保存会の育成に努められたい。

並行在来線等問題 特別委員会行政視察報告 (11月15日～16日)

●平成21年3月に「並行在来線問題特別委

員会」が行政視察で千曲市を訪れている。それから3年半が経過し、実際の運用状況等の視察を行った。

平成21年10月末に、千曲駅でこ線橋及びエレベーターが利用できるようになり、平成22年1月末には駐車場を含む駅関連施設が完成した。平成22年3月20日には千曲駅開業1周年記念イベント列車を運行している。千曲駅開業当初の1日あたりの乗降客数は、890人を目標として設定された。平成21年度660人、22年度745人、23年度が813人、そして24年度9月期までにおいては861人と、月日を重ねるごとに順調に伸び、少しずつだが目標値に近づいている。千曲駅に循環バス路線を設定し、毎年3月のしなの鉄道のダイヤ改正にあわせて時刻表の見直しを行ったり、通学・通勤の利用者は自転車利用が多いので、自転車置き場を整備したりと、千曲駅利用者のマイレール意識の醸成を図る方策が功を奏している。



しなの鉄道「千曲駅ホーム」

●千曲駅の管理運営業務については、しなの鉄道株式会社から千曲市が業務委託を受

ける形をとっている。

駅の業務員は、市が嘱託職員を3名雇用し、ローテーションによる1人勤務体制をとっており、勤務時間は午前7時から午後9時までである。駅管理業務（駅舎及び駅周辺の清掃）を臨時職員1名により行っている。これらの人件費は年間約670万円、その他光熱水費が約27万円である。

市の特定期間として見込んでおり、月額20万円を定額にし、千曲駅の乗車券等の売上1・4%を乗じた金額を収入とし、千曲駅及び屋代高校前駅とあわせて550万円ほどの収入がある。千曲市が千曲駅に対する実質の補填額は年間約450万円である。

●千曲駅の周辺整備については、駅と幹線道路である国道18号線をつなぐ道路を整備した。開業当初は民間活力の導入を期待していたが、期待どおりにはいかなかった。しかし今後は駅周辺での宅地開発に向け、道路整備や住宅の開発等の準備を担当部署で進めているとのことだった。

●新駅設置に際しては、駅を利用していた、交通弱者の方に利用していただくことをまねぐりの観点で考え、公共施設等の中心に駅があるような形だと、利用しやすくなる、という提言をいただいた。

議会放送と録画放送のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ092チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（3月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。



議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111（内線371）

議会報編集委員

水野達夫委員長

前田新作副委員長

岩城晶巳委員

古沢利之委員

中川 勲委員

野末利夫委員

12月定例会での①議員提出議案、②請願・陳情、③意見書提出要請、④要望書について

件名及び提出者

処理結果

① 議員提出議案（4件）

- | | | | |
|---|------------|----------------------------------|----------------|
| 1 | 議員提出議案第14号 | 滑川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について | 本会議結果＝可決 |
| | 滑川市議会議員 | 開 田 晃 江 外5名 | |
| 2 | 議員提出議案第15号 | 滑川市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について | 本会議結果＝可決 |
| | 滑川市議会議員 | 開 田 晃 江 外5名 | |
| 3 | 議員提出議案第16号 | 直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| | 滑川市議会議員 | 開 田 晃 江 外5名 | |
| 4 | 議員提出議案第17号 | 障害者に対する公的医療費助成制度の充実を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| | 滑川市議会議員 | 岩 城 晶 巳 外5名 | |

② 請願・陳情（1件）

- | | | |
|---|-------------------------|----------------|
| ・ | J R東滑川駅の「こ線橋設置」に関する請願 | 本会議結果＝採択 |
| | 早月加積地区自治会連合会 会長 近 堂 昭 夫 | |

③ 意見書提出要請（2件）

- | | | |
|---|--|-----------------|
| 1 | 直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書 | 議会運営委員会一致 |
| | 国土交通省管理職ユニオン北陸支部 執行委員長 土 肥 和 広 外1団体 | （議員提出議案第16号へ） |
| 2 | 地方自治体の重度障害者（児）医療費助成制度及び自立支援医療費の改善を求める国への意見書採択に関する陳情書 | 議会運営委員会一致 |
| | （社）富山県身体障害者福祉協会 会長 岡 本 武 勇 外5団体 | （議員提出議案第17号へ） |



④ 要望書（6件）

- 1 建築士事務所の健全な発展により建築文化の向上を図るための要望書……………全議員へ参考配付
(社)日本建築士事務所協会連合会 会長 三 栖 邦 博 外1団体
- 2 水害から守る為の市道中川寺家線及び市道下小泉神家線に関する側溝改良工事に関する要望について……………全議員へ参考配付
下小泉二区町内会 会長 松 井 一 成
- 3 地球社会建設決議に関する陳情書……………全議員へ参考配付
荒 木 實
- 4 公共施設等における木材の利用促進について……………全議員へ参考配付
富山県木材組合連合会 会長 西 村 亮 彦 外3団体
- 5 平成25年度滑川市行政施策に対する要望について……………全議員へ参考配付
滑川商工会議所 会頭 斉 藤 慎 一
- 6 水害から守る為の県道蓑輪滑川インター線及び古鹿熊滑川線に関する側溝改良工事に関する
要望について……………全議員へ参考配付
下小泉二区町内会 会長 松 井 一 成

12月定例会での本会議の結果について

議 案 内 容 等

採 決 結 果

- ◎議案第72号及び第73号 平成23年度滑川市各会計決算の認定について 外1件…………… 原案認定・可決（賛成全員）
- ◎議案第84号（分離採決）…………… 原案否決（賛成少数）
滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について
賛成者＝浦田・野末・森
反対者＝水野・高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・開田・中川・高橋・前田
- ◎議案第87号（分離採決）…………… 原案可決（賛成多数）
富山県東部消防組合の設置について
賛成者＝高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田
反対者＝水野・森
- ◎議案第78号から議案第83号、議案第85号並びに議案第86号
平成24年度滑川市一般会計補正予算（第4号）外7件…………… 原案可決・承認（賛成全員）
- ◎請願第1号 JR東滑川駅の「こ線橋設置」に関する請願…………… 採 択（賛成全員）
- ◎議案第88号 滑川市監査委員の選任について…………… 原案同意（賛成全員）
- ◎議案第89号 滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について…………… 原案同意（賛成全員）
- ◎議案第90号 人権擁護委員候補者の推薦について…………… 原案異議なし（賛成全員）
- ◎議員提出議案第14号…………… 原案可決（賛成全員）
滑川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎議員提出議案第15号…………… 原案可決（賛成全員）
滑川市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- ◎議員提出議案第16号…………… 原案可決（賛成全員）
直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書
- ◎議員提出議案第17号…………… 原案可決（賛成全員）
障害者に対する公的医療費助成制度の充実を求める意見書